

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1. アルファベット氏名	ZHOU DAOCHANG						
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	4				
4. 学校名	熊本大学	5. 学種	大学学部				
6. 所属研究科・学部等名	工学部						
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年 10月	～ 終了年月		2018年 3月		
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等							
(1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)							
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。							
<p>ビジネス日本語授業で、日本の就活についていろいろなものを勉強しました。例えば、自分PRや、グループディスカッションの形式、日本のビジネスマナーなど、その前は全然わかりませんでした。先生たちから教えてもらって、将来自分の就職にも大変役に立ちます。キャリア教育また就職準備講座で、会社の人たちから日本で働くことについて教えてもらいました。自分もやっと将来像を少し作ることができました。実は、やはり文化の差のせいに、ちょっと受け入れない部分は何点も確かにあります。それも、また日本で二年間の院生の間に、勉強と共に、一層異国文化を理解して、自分の将来をちゃんと考えるつもりです。</p>							
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。							
<p>第一印象に、日本の就活の写真から、みんなほぼ一緒なシュツを着て、各社の前に並んでいる画面を見て、びっくりしました。自分の印象に、日本での就職は、人の個性より、団体性また機械性のほうを重視していると思っています。それはいいかどうか評価することができませんが、確かに仕事の効率を向上して、会社の人に人間関係を安定させると思います。他の違いについては、中国でみんな卒業する前に就職活動に参加することで、日本ではみんな三年生から就活を始めました。そして、日本での就職は、新卒者のほうが会社に入りやすいと聞いたことがあります。中国では、経験者のほうが人気だそうです。</p>							
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。							
<p>私は自動車にたいへん興味が持っていますから、自動車関係の会社は自分将来の目標です。日本にいろいろな良い自動車会社があるので、そこに就職するために頑張りたいと思います。専門知識を一層理解するため、学部卒業したら大学院へ進学することを決めたので、就職活動はまだ参加したことがありません。院生の時勉強と共に機会があれば様々な会社のインターンシップに参加したいです。企業研究のほうも情報を集めてやります。最後、キャリア科目で勉強した礼儀やグループディスカッションなどのほうはまだ下手なので、これからも準備したいと思います。</p>							

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)


1. アルファベット氏名	KAO, TING-YU						非公開
2. 出身国又は地域	台湾	3. 学年	大学院一年				
4. 学校名	熊本大学	5. 学種	大学院				
6. 所属研究科・学部等名	社会文化科学研究科						
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月	2018年	
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等							
(1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)							
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。							
<p>ビジネス日本語の授業を履修した後、まず日本の就職活動はどういうようなものかを先生が授業中に説明してくれました。そのおかげで自分の国とに違いが分かり、今の自分はまさにスタートの時期に立っていることが分かりました。また、授業中に自己PRの練習もあり、これからの本番に向けていい練習になったと思います。キャリア教育とインターンシップにも参加しました。キャリア教育は会社の人やその業界のことを紹介してくれました。今まで知らなかった業界のことを知ることができ、自分はその業界に向いているかどうかを考えることができました。インターンシップは実際にその業界、または会社に入り、どのような仕事をしているかを体験することができました。</p>							
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。							
<p>出身国台湾では、まず、就職活動という言葉がありません。男性は兵役があるため卒業後は軍隊に行く人が多いです。女性はその義務がありませんがほとんどの人は大学4年の後期の時から、または卒業してから仕事を探します。他にも、日本の就職活動と違って大手企業ではない限り何回も面接することはありません。その理由で企業研究や自己分析も日本ほどきちんとならない人が多いです。台湾は転職によりキャリアアップすることが基本なので、日本の終身雇用と大きな違いがあります。日本の場合は、これから一生働く場所になるためしっかりその会社のことを調べ、自分と会うかどうかを判断した上での就職になります。自分がしっかり調べて悩んで決めた仕事ですのでこれから仕事へのやる気になると思います。</p>							
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。							
<p>まだこれからが就職活動の本番です。心配や不安は多いですが、学校からの支援も多く、先生方も私たちの就職活動に大変関心があり色々とサポートしてくれるので心強いです。今まで何社かのインターンシップに参加してことがあり、そのおかげでどのような業種にしたいかは少し決めました。これからの予定としては、3月に開催される合同説明会に参加し、もし気になる企業が個別説明会も開催される場合はぜひ参加したいと思っています。そして、プレーエントリーし、本番用のエントリーシートを作成します。そして、就職推進室の先生や同じゼミの先輩に頼み、面接の練習をします。また、日本の就職活動は特定の地域に指定しない限り交通費などがかなり発生するため、今回頂いた奨学金で就職活動の時の費用に使わせて頂きたいです。</p>							

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)


1. アルファベット氏名	WU XIAOYU						
2. 出身国又は地域	中国・湖北省	3. 学年	1				
4. 学校名	熊本大学	5. 学種	大学院				
6. 所属研究科・学部等名	社会文化科学研究科 法学専攻						
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月	2018年 3月	
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)							
①ビジネス日本語	<input type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 ①ビジネス日本語授業では、日本の就職活動のスケジュール・流れ、そして社会人として必要なビジネスマナー・スキルなどについて学ぶことができ、日本で就職活動をどのように進めたらいいか大体イメージできるようになりました。②キャリア科目では、企業の社長や人事担当者または留学生の先輩が実際企業説明会に来ていただき、身近な距離で就職活動に関する疑問点をたくさん聞くことができ、実際働くイメージや業界・企業選びの基準もつかむことができるようになりました。③数回のインターンシップを通じて、企業がどのように事業を展開し、大事にしている理念が分かり、それが自分の価値観と合っているかどうかを判断した上で、自分がどんな会社でどんな仕事をやりたいのかまた一歩先に進みました。④キャリアセンターの実施している模擬面接・グループディスカッションに参加したたくさん指摘されていて非常に役に立ったと思います。							
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 就職活動の時期: 日本は卒業する一年前より始まるのに対して、中国は卒業する三か月か卒業した後には始まることも多いです。 応募の仕方: 日本では大体プレエントリー企業説明会—エントリー書類選考—WEBテストなど—複数回の面接—内々定というような流れが多いですが、中国では大体、仕事の申し込み—人事による一次面接—(部長か社長による最終面接)—内々定というような流れです。 専攻の問い方: 日本の就職活動では、理系と文系しか分けないのに対して、中国では文系でも、それぞれの専攻により、文系でも専攻性を問われるような人材採用方法が使われています。							
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 まず自分がどんな仕事に携わりたいのかを知ることが大事なので、自分の性格、強み、拘りまたは弱みなどを書き出し、自己分析を行ってきました。とくに興味を持っている業界や企業・職種を全部リスト化し、特徴などを比較した上で自分の企業選びの基準(軸)が分かることができました。コンサルティング会社や専門店でインターンシップし、企業説明会も早期にできるだけ多く予約しました。しかし、キャリアセンターの実施している模擬面接・グループディスカッションに参加し、企業研究の不足さを痛感しました。それは業界をあまり絞っていなかったからだと思います。そしてマイナビなどの実施している企業WEBセミナーを視聴し、企業事業や経営理念に対する研究がとても大事であることが分かり、就職活動の際に、たくさんの量で企業志望を行っていくより、最も大事なものは質に重視することで、すなわち企業について知り、社員の方々と話することなどであるとすごく共鳴しました。筆記試験の対策としてはSPI問題集を繰り返して練習しています。これからも自己分析を行いつつ、企業研究にもっと力を入れたいと思います。							




文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1.アルファベット氏名	LIAN LIN						
2.出身国又は地域	中国	3.学年	一年				
4.学校名	熊本大学	5.学種	大学院				
6.所属研究科・学部等名	社会文化科学研究科						
7.学習奨励費受給期間	開始年月	2017年10月	～ 終了年月		2018年3月		
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)							
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 <p>ビジネス日本語で先生はDVDを視聴する形式で「働くということ」と「日本での就職の流れ」について私たちに説明しました。また、「業界研究」と「エントリーシート」についても学び、自己PRも書いて皆の前で自己PRを発表してもらいました。それだけではなく、模擬グループディスカッションも行いました。これを通じて、自分の不足、自己PRをした時注意すべきこともすぐ気づきました。このほか、キャリアデザインスクール アート・アイの方は授業で「ビジネスマナーの基礎」について教えてもらいました。BJT普及部の方も「BJTとは何か」と「日本の就職の流れ」について私たちに説明しました。キャリア教育は8回を行いました。第一回に熊本ソフトウェア(株)の方は「日本の企業と経営」について話しました。商人の道と考え方を勉強しました。第二回に先生は前回の話について復習しました。先生の説明のおかげで、分かりにくいところも分かりました。第三回にヤマハ熊本プロダクツの人事担当の方は「日本の企業の仕事」について話しました。ヤマハの歴史や企業理念を知りました。また、働くの意味や仕事の選び方や自己分析の方法も学びました。第四回に先生は前回の話を復習して、質問を答えて、先生自身の考えも私たちに教えました。第五回に株式会社RKKコンピューターサービスの方は「企業でのキャリアパス」について話しました。会社の企業概要や仕事の種類や求める学生像などが分かりました。日本企業の留学生採用の現状と採用背景を勉強しました。「質問」の重要性も分かりました。第六回に先生は前回の話を復習しながら、私たちの質問を答えました。前回の話のポイントをまとめて分かりやすい方式で私たちに教えました。第七回に株式クボタ(留学生OBOG)の方は「日本企業での就職観」について話しました。就活の時に注意すべきことや仕事を選ぶ基準などを勉強しました。業界分析の時に有価証券報告書を有効に利用することも分かりました。第八回に先生は前回の話を復習して、有価証券報告書の読み方を教えました。この授業を通じて、私は「仕事」についての理解がもっと深くになりました。自分自身の不足もきちんと気づきました。とても有意義だと思います。</p>							
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 <p>インターンシップ: 中国ではインターンシップは強制的です。学生全員とも参加しなければならない。また、インターンシップの時間も日本より長いです。せめて一か月ぐらいです。面接: 中国ではグループディスカッションの形の面接がないです。</p>							
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 <p>10月～2月: 日本で就職するために、ビジネス日本語を勉強して、BJTテストを受けます。学内就職講座や就職イベントに参加します。業界研究を始まり、SPI対策開始。自己分析を行います。模擬面接を受けます。3月～: 企業説明会や就職ガイダンスなどに参加します。企業研究を始まります。ES作成し、提出します。</p>							

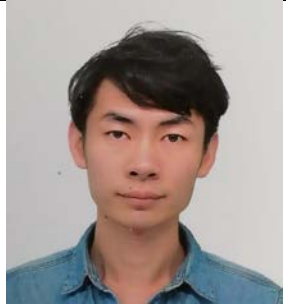
文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1.アルファベット氏名	XU XIAOTING						
2.出身国又は地域	中国			3.学年	修士1年		
4.学校名	横浜市立大学			5.学種	大学院		
6.所属研究科・学部等名	国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻						
7.学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月	2018年 3月	
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)							
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input checked="" type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。							
<p>1.キャリア教育:就職活動を全般的に認識した。企業側は留学生に対するどのような期待を持っていることも分かった。また、自己紹介の練習、企業に提案するワークショップなどを通じて、コミュニケーションとPRのスキルを身につけた。</p> <p>2.ビジネス日本語:SPI試験の対応方法や、学生時代頑張ったことの書き方を習得した。電話、メールのビジネス日本語も学んだ。</p> <p>3.その他:ランチタイムの悩み相談会は楽しかった。就職活動の間に自分の悩みを傾けてくれて本当に助かる。癒される。</p>							
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。							
<p>1.開始時間:持続時間は長い。6月から夏インターが開始し、翌年の9月ぐらいに大多数の会社は採用活動を終わる。母国はただ春、秋2回。</p> <p>2.企業側の重視するポイント:母国の方が免許・資格を重視する、日本はポテンシャル採用を重視している。コミュニケーション能力と協調性は特に重視するイメージは強い。</p> <p>3.社会環境:様々な組織や会社は沢山のガイダンスやセミナーを開催する。全社会は人材育成に力を入れている。</p> <p>4.インターンシップの日数:母国では3ヶ月以上の長期インターンシップは多い。日本では1、3、5日インターンシップが多い。</p>							
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。							
<p>1.毎日ビジネス日本語を練習する。</p> <p>2.徹底的に自己分析をする。</p> <p>3.業界分析、会社分析を行い、自分の志望業界と志望企業を決める。</p> <p>4.筆記・面接対策をする。</p>							

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1. アルファベット氏名	GUO TIANBAO							
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	M1					
4. 学校名	横浜市立大学	5. 学種	大学院					
6. 所属研究科・学部等名	国際マネジメント研究科							
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～		終了年月	2018年	3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ		<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 ビジネス日本語のプログラムに参加した後で社会人として、ビジネスマークを学んで来て、特に企業の面接する時、注意すべきことが把握しました。また、ESの書き方や自己PRの本質も分かって来ました。インターンシップで一番印象に残っているのは、インターンシップをしている人たちの真剣さです。休憩時間はみんなで笑いながら会話していても、休憩が終わるとみんな真剣な顔になって、ワークに集中していました。こうゆうところが、僕たちは社会人になると感じました。 短い間のインターンシップで、多くのことを学びました。色々な経験を活かして、社会人に少しでも近づけるよう努力しながら、将来の就職選択に活かせることができると考えられました。								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 日本の就職活動は中国より非常に良い就職環境だと思います。何故なら、日本でインターンシップに参加することができます。様々な企業に触れることは貴重な経験だと考え、それで、参加する経験に基づいて、3月以後の本番になる時、役に立つことが出来ました。特に、きちんと自分は気になる業種と業界を絞りまして、ちゃんと目標を決めながら、自分の第一志望を目指して日々精一杯一生懸命後悔しないように頑張ります。								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 限られる時間の中でなるべく多く企業の様子を見ることが大事だと考えます。つまり、様々な面から問題を解決する可能性が高くなります。要は、面が狭くなってあまり、効果がないだと思います。結局は合同説明会や企業説明会などをインターンシップも含めて最後の目標を達成するため、多く参加したほうが良いと考えます。								


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1. アルファベット氏名	JIANG ZONGKUN							
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	3年					
4. 学校名	大阪市立大学	5. 学種	大学学部					
6. 所属研究科・学部等名	商学部商学科							
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月		2018年	3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等								
(1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>	
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。								
<p>まず、ビジネス日本語のセミナーを受けた。先生が日常生活用と職場用の日本語の違いを説明してくれたり、職場の言葉遣いの実例をあげたりした。このセミナーを通じて、一層職場での異文化差異を理解できた。そして、就職活動準備、日本企業の評価制度や税制理解などのキャリア教育があった。これらの活動で就職活動の大体の背景と流れを知り、就職活動のイメージをコンパクトにまとめた。最後は、有名な商社やメーカーのインターンシップに参加した。日本人の学生と一緒に企業説明を聞いたり、商社ゲームなどのグループワークをしたり、先輩のフィードバックや経験を聞いたりして企業で働く姿をイメージできた。そして、将来自分がどんな方向に努力すべきかを決めて、就職活動に対するモチベーションを高めた。</p>								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。								
<p>一つ目は、日本の就職活動は中国より明らかに早い。学生たちは三年生の後半からすでにインターンシップに参加したり業界説明会に行ったりする。就職活動の重要性を感じる。二つ目は、日本の就職活動の流れの正規性である。どんな時期でどんな準備をするか、そして、経団連でエントリーシートから面接まで基本的なルールがあり、就職する学生にとっては便利な環境だと思う。最後は、学生就職活動に支援する活動の豊富性である。学校はもちろん、会社も積極的に説明会やインターンシップなどのプログラムを開設する。これらの活動を通じて、学生たちは就職活動で自分のポジションを見つけることができると思う。</p>								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。								
<p>就職活動は留学生にとって未知の世界なので、事前準備が大切だと思う。とりあえず、就職活動に関する本を読みたい。企業説明会などですでに聞いたが、エントリーシートの書き方、SPIテストセンターやグループディスカッションなどをもっと具体的に勉強したい。そして、就職活動に必要なリクルートスーツなども準備しなければならない。三月から、たくさんの企業の説明会に行くつもりで、重要な情報を収集するのである。日本人の友達と一緒に動くつもりで、お互いに協力して、進むのである。</p>								


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1. アルファベット氏名	ZHANG JINKAI					
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	1年			
4. 学校名	北海道科学大学	5. 学種	大学院			
6. 所属研究科・学部等名	工学研究科・機械工学専攻					
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	17年 10月	～	終了年月		18年 3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等						
(1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)						
①ビジネス日本語	<input type="radio"/>	②キャリア教育		③インターンシップ		
④その他	<input type="radio"/>					
(2) 参加した(1)①のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。						
<p>プログラム内容: 会社が求める人材像、職場で求める能力、自分の強みと弱み、礼儀と名刺交換のマナー、日本の業界(職種)、大企業と中小企業の違い、日本経済の流れ、年功序列と終身雇用に関する説明、日本での就職に関する法律、年金、説明会(面接)の服装マナー、就職活動の流れ、面接試験、学生時代に頑張ったことなどが主な授業内容でした。</p> <p>学んだこと: 多くの授業中でグループディスカッションを通じて、他の学生と話し合いしながら、就職活動について様々な意見交換をすることができました。特に留学生として、以前気付いていなかった日本の企業文化と制度(礼儀と名刺交換、年功序列や終身雇用など)をしっかりと学びました。</p>						
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。						
<p>日本での就職活動では「自己分析」が重要と考えます。人生のエピソードについて分析し、整理し、総括したうえで、自分の能力や強みを分析して伝えることが重要になると感じています。多くの日本会社が学生たちの「人間性」を非常に重視していると考えています。また、日本での就職活動の期間は自分の国と比べて長いと思います。有名な大手会社に就職の場合、前年の夏休みのインターンシップから始まり、うまくいけば、内定まで約一年間経っているように感じます。日本の大学院は、就職、研究と授業の両立は難しいですが、かなり成長できるような一年だと思っています。</p>						
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。						
<p>これから就職活動をします。自分のキャリアプランとマッチする会社に就職できるよう取り組みたいです。企業説明会から、書類選考、筆記試験(SPIなど)、数回の面接を通して内定まで、ただ「合格」だけではなく、自分の強みが企業に活かせるか、企業の将来性と求める人物像は何かを考えなければなりません。このために、企業研究は十分な姿勢で取り組んでいきたいと思っています。もちろん、面接の前に落ちたら何ともなりませんので、書類選考と筆記試験に向けしっかり準備しようと考えています。</p>						


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1. アルファベット氏名	MA JIE							
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	1					
4. 学校名	東北学院大学	5. 学種	大学学部					
6. 所属研究科・学部等名	経営学部							
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月		2018年	3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	<input type="radio"/>	②キャリア教育		①インターンシップ			④その他	<input type="radio"/>
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 面接するときと就職してからについての職場での正しい日本語の使い方。								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 日本の就職はほとんど新卒採用することは一般的ですが、中国だと関係なく経験が大事だということも大きいです。								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 外国人として、日本人と比べたら言葉の壁とか大変かもしれませんが、就職活動をやめてしまう学生もいまして、思うように進まなくても、最後まで諦めない自分の適性を考え直しも必要だと思います。								

**文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)**

1.アルファベット氏名	TANG NGOC MAI							
2.出身国又は地域	ベトナム	3.学年	1年					
4.学校名	宮城学院女子大学	5.学種	大学学部					
6.所属研究科・学部等名	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科							
7.学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～		終了年月	2018年	3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	○	②キャリア教育		③インターンシップ	○	④その他		
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 私は大学の授業との両立を考えてN2レベルのEラーニングとインターンシップを選択しました。Eラーニングは東北大学のパソコンで行いましたが、宮城学院女子大学の講義終わりに向かったためいつも遅れて着いていました。すると先生は家のパソコンでやってもいいよと教えてください家での勉強を行いました。また自分の持っている本、新聞を読み、ニュースを聞き勉強をしました。私はこのような学習から日本語の聞き取りや読み取りのスキルが前よりも上がったと思います。これからも色々な日本語の授業を参加したいと思います。インターンシップはインターンシップ先の会社は自分で見つけてきました。私は飲食業界に興味があります。また自分のレストランを開きたいという夢を持っています。そのため飲食店の体験を主にする予定です。キッチンなどの経験もしたいと考えます。またビジネス的に接客のスキルも上げたいと思います。実際の経験をすることで飲食業界の仕組みや人事などをよく知ることができたらいいなと考えています。従って2月19日から2月23日まで5日ほど株式会社カルラの海鮮厨房カニ政宗にてインターンシップをする事になりました。								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 まだ日本で就職活動を行っていません。								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 これから就職活動をする場合は就職活動にまず会社にある仕事を調べます。就職ナビサイトでの企業にはどんな仕事があるかを調べて訪問します。そして、見つけた仕事の中で、自分がやるとしたら、なにをやりたいか？自分に向きそうな仕事はあるか？を考えます。そこで自分のどんな強みが活かせるかを考え、大学時代に培った長所を活かして、どんな風に働きたいのか？自分が将来活躍する姿を思い浮かべます。また、面接訓練も積極的に参加したいと思います。								

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1. アルファベット氏名	CHEN AQING							
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	1年					
4. 学校名	東北工業大学	5. 学種	大学学部					
6. 所属研究科・学部等名	工学部建築学科							
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月		2018年	3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	<input type="radio"/>	②キャリア教育	<input checked="" type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>	
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 ライフ・キャリアデザインを通じて、日本の労働環境や働き方など勉強した。例えば、日本の労働人口、産業別就業人口、雇用形態など。人的資源管理年功主義から成果主義への変遷。採用選考、配置についても勉強した。また、様々な心理テストを通じ、自分の性格の特徴を細かく把握することもできた。その上で、私はライフ・キャリアデザインを明確に設定した。 JTB主催PBLに参加して、「秋保温泉への訪日外国人を増加させる」という課題を設定し、秋保の観光地としてある「強み」と「弱み」の発見から問題を解決するような、様々なデータを集めて、それらを比べ、分析し、目標を設定、計画を立てることを学んだ。								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 まだ参加していない。								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 1. まずは言語の壁を乗り越えること。卒業までに、N1を取ること、そして日本でスムーズに暮らせるようにしっかりとした日本語を身につけること。 2. 毎日、しっかり講義をうけて、建築設計の仕事に必要なスキルを身につける。 3. 就職活動を行いやすくするために、専門の資格を取る(例: 宅建士)ことも考えている。 4. サークル活動やインターンシップなど積極的に参加して、社会人として成長していきたい。								


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム採用者)

1. アルファベット氏名	TIAN RUIQI							
2. 出身国又は地域	中国		3. 学年	修士課程2年				
4. 学校名	東北公益文科大学		5. 学種	大学院				
6. 所属研究科・学部等名	公益学研究科							
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月		2018年	3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等								
(1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	<input type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>	
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。								
<p>ビジネス日本語コースを通じて、自己紹介、電話掛け方や受け方、メールの作り方、ビジネス用の敬語などをきちんと練習して、大人の会話用語をたくさん覚えてました。また、社内と社外のマナーも勉強しました。その中、特にミニスピーチの練習で会社でプレゼンテーションすることに非常に役立つと思います。</p> <p>日本ビジネスコースで東北地区、そして日本全体的な産業の概況、歴史や特徴を紹介して頂いて、日本のものづくりや技術応用などについて、更に詳しく教えて頂きました。当然、日本の高齢少子化などの社会問題にも議論しました。</p> <p>ビジネスマナー講座で、個人の服装や表情、姿勢や言葉遣いなどについて紹介して頂きました。また、名刺の受け取り方や敬語などにも勉強しました。</p>								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。								
<p>中国では就職活動する際に、服装について少し緩めです。女性はスーツではなくても大丈夫です。それに反して、日本では服装はもちろん、カバンまで同じになりそうです。</p> <p>中国で就職活動はもっと簡単な気がします。面接が三、四回で内定を頂くのは少ないです。また、就職活動にかかるお金が日本のほうが多いです。</p>								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。								
<p>山形県内企業バスツアーを二回参加しました。県内のものづくり技術を見学しました。</p> <p>現在の希望会社は商社です。そして、観光や旅行会社にも興味があります。ですから、これからの就職活動はまず、色んな業界研究フェアに参加して、他の職種や業界にも研究するつもりです。一つや二つの職種に拘らないことが大事だと思っています。</p>								


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1.アルファベット氏名	NGUYEN THI THUY							
2.出身国又は地域	ベトナム	3.学年	1年					
4.学校名	東洋大学	5.学種	大学院					
6.所属研究科・学部等名	国際文化コミュニケーション学科							
7.学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月		2018年	3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等								
(1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>	
(2) 参加した(1)①のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。								
<p>日本語として会話、読むことだけではなく、日本の会社で使うビジネス日本語も必要だと思います。そのため、私は東洋大学でビジネス日本語集中講座に参加する理由です。留学生の私にとってビジネス日本語が難しいと考えます。ビジネス日本語の講座に参加して色々な知識を勉強できました。まず、社内で上司と同職の人に対応仕方と使うビジネス日本語です。社内と社外で対応する日本語の違いを区別します。名刺交換、と電話対応することを学びました。次に、私はビジネス日本語能力試験に触れられました。それに、夏休みの時島根で企業を見学するシアに参加しました。将来的に非常に役に立ちます。色々な企業を見学しまして、ホテルの環境を体験し、営業仕方も勉強になりました。その上で、秋学期にキャリア概論教育に参加しました。日本で外国人の就職率と就職する状態を分かりました。</p>								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。								
<p>日本とベトナムの就職活動の違いが多いと思います。一般的に考えると3つ違いを分けられる。まず、インターンシップ活動に参加することです。ベトナムならインターンシップ活動は12月からはじめまして、今年では、日系企業などの外資系企業の進出が盛んであり、そういった企業の中で、例えば翻訳の仕事などをインターンシップで経験します。次に、就活解禁についてベトナムの大学卒業後就活活動をスタートします。日本と違い点は就職解禁日が明確ではないということです。そして、ベトナムなら企業探しの方法が多かったようです。知人・家族からの紹介や求人広告を見る方法、公的職業紹介サービスを利用するなどあります。インターネットを使った企業探しが主流になるのではないかとされています。このように、日本とは同じところもあれば違うところもたくさんあるベトナムの就職活動だと思います。</p>								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。								
<p>今、私は東洋大学で1年生終わったところですので多く就職活動に参加しませんでした。ただ、IT業界に関して会社でインターンシップに行きました。今回、このインターンシップに行った時色々な知識が勉強になりました。ITに関する知識だけではなく営業仕方も学びました。これから、2年生になり、色々なことを体験したいと思っています。そのため、今から知識の準備が必要だと思います。日本語能力に関してビジネス日本語が一番大切だと思います。英語の能力も身につけたいと思います。それに加えて社会的な知識もいくら積みたいと思います。勉強しながら実践することが必要ですので社会貢献に関するボランティア活動に参加する予定です。就職活動の内容ではITやビジネスコミュニケーションなど参加したいと考えます。将来、外交官になるために頑張り、日本で色々なことをチャレンジしたいと思っています。</p>								

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1.アルファベット氏名	KIM YUNJIN						
2.出身国又は地域	韓国、イルサン	3.学年	1年				
4.学校名	東洋大学	5.学種	大学学部				
6.所属研究科・学部等名	国際観光学部国際観光学科						
7.学習奨励費受給期間	開始年月	2017年10月	～	終了年月		2018年3月	
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)							
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>
(2) 参加した(1)①のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 ビジネス日本語の講座では、文化の違いによって生じる葛藤などをビデオで見ました。例えば、時間観念の問題で多く生じることは、「明日まで」と言われた時でした。外国からのひとは、それが朝か昼か夜か、いつまでなのかがはっきりわからなくて、葛藤につながるわけでした。問題をいろいろと多角的に接することでビジネス日本語だけでなく、日本企業の文化についても知ることができました。また、キャリア教育の講義では、就職に関することを学びました。就職活動の流れからはじめ、日本で就職するメリット、就職までしておくべきことなどを学び、そして実際に企業分析をすることにより、就職についてある程度把握することができました。最後に、地方企業見学ツアーでは石川県のいろいろな企業に訪ねたり観光したりしながら、地方の魅力を感じました。就職活動の際に、東京だけに限らず、地方にも目をつけようと思います。							
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 韓国に比べると、日本は就職する時期が早いなと思います。実は、韓国では大学を卒業してからまた一年ほどキャリアを築き、就職活動を始めます。これは、日本に比べると、おおむね二年の開きがあるのです。そして、男なら兵役を終えてこそ就職ができる理由もあって、社会人になるまでおよそ4年の開きが生じます。これはすなわち、結婚年齢などの理由で一つ目の就職先からの離職が非常にむずかしいことを意味し、そのゆえに就職にかなりの負担が感じられます。それに対して日本での就職活動はその時期が早いために、それなりの時間を稼ぐことができ、より安定的に未来に向かうことができると思います。							
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 私は就職活動に二つの方向性を持っています。一つは国際的な経験を増やすことです。キャリア教育の授業で、留学生は就職の際に日本に留学にきたこと自体が高い評価を受けると言われました。違う環境、文化に自ら足を運んだことが挑戦する意識が高いと思われるからだそうです。しかし、私は他の留学生とは違って日本に家族が住んでいます。当然、留学生としての苦労が少なく、挑戦意識を発揮しにくいわけです。それで、今年2月の海外ボランティアプログラムに参加することをはじめとして短期留学、交換留学を計画しています。これは、今後勤めたいホスピタリティー業界で大いに求められる経験でもあります。いろいろ苦労しながら一つ一つ進めていくことで、実践的な英語の能力を高め、海外での経験を増やそうと思います。そして2つ目は、現場を知ることです。特にホスピタリティー業界は、テキストを勉強するだけでは全く足りません。現場の経験を通して予想できなかった状況への対応力を高め、テキストで習ったビジネス日本語や理論などを実践的なものとして身に付けたいと思います。そのためにいろいろなインターンシップに参加し、また関連業界でバイトをしながら業界全体についての理解度を高めたいと思います。							

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム採用者)

1.アルファベット氏名	ZHENG ZIMAO							
2.出身国又は地域	中国	3.学年	M2					
4.学校名	名城大学	5.学種	大学院					
6.所属研究科・学部等名	経営学研究科							
7.学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月	2018年		3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	<input type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他		
(2) 参加した(1)①のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 内容: 1、ビジネス場面でよく使われる「表現」と「文言」 2、ビジネス場面でよく出てくる「言葉」 3、発音を注意しながら、自然なスピードで言えるような口頭練習 4、日本のビジネスマナーや習慣 学んだこと: まずは、ビジネス場面でよく出てくる「言葉」の意味を理解したり、使い方を身につけたりする。また、録音とアクセント記号を参考しながら、音読して発音を確かめて練習する。その上で、発音を注意しながら、自然なスピードで言えるようになるまで練習を繰り返す。さらに、自分の状況で談話を作り、動作とともに発表する。そのほか、日本のビジネスマナーや習慣について理解を深めるために、母国の習慣と比較して話し合う。								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 日本の就活: 1、たくさんの支援講座と相談がある。2、自己分析から企業リスト、履歴書、面接などまで一連のスケジュールがある。3、リクナビとマイナビなどの支援サイトがある。4、いろいろな見学とインターンがある。5、スーツを着たり、エントリーをしたり、説明会に参加したりしなければならない。 中国の就活: 1、日本にあるものが全てであるが、そんなに厳しくない。2、自分で探したり、先輩から紹介してくれる場合が多い。3、学校などの支援がないわけではないが、あまり役に立たない。4、長期的なインターンがあつて、それを通じて、インターン先を入社することが多い。5、履歴書と面接などは、より自由で簡単である。								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 活動と結果: 1、いろいろなインターンと見学に参加することで、仕事内容と職場雰囲気、マナーなどがわかった。2、支援講座と授業を受けることで、ビジネス日本語と敬語表現などを身につけた。3、先生たちと面談してから、自分の状況と就職観、キャリアについての考えなどを明らかにした。 それから: 1、就職するための資格を取ったり、試験を受けたりしたい。2、日本で就職した先輩と相談したい。3、SPIとTOEICについて、もっと工夫したい。4、履歴書を直したり、模擬面接を受けたりしたい。5、心配せずに、勇気と覚悟を出して、それからの就職活動に参加するつもりだ。								

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム採用者)

1. アルファベット氏名	LI MEI						非公開
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	4				
4. 学校名	金沢星稜大学	5. 学種	大学学部				
6. 所属研究科・学部等名	経済学部経済学部						
7. 学習奨励費受給期間	開始 年月	20 17 年	10 月	～	終了 年月	20 18 年	
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)							
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>
(2) 参加した(1)①のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 自分は主にビジネス日本語について勉強しました。このプログラムを通して、日本のビジネスマナーとビジネス日本語に関する内容をもっと深く理解できるようになりました。特に敬語の使い方とか、ビジネスメールの書き方とか、これまで非常に悩んでいた部分について詳しく説明してくれました。このプログラムで学んだ内容をこれからの将来の職場生活で活用して、一人前の外国人社員になりたいと思います。							
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 日本の就職活動は非常に特別だと思います。まずはSPIテストみたいな筆記試験は中国より難しいです。また、事前の準備がとても重要です。自己分析から始めて、性格分析、自分の興味がある業界についての調査、業界研究、エントリーシートの作成、OB、OG訪問など、面接前にしっかり準備しないとイケません。就職というプロセスが中国より複雑だと思います。しかし、日本の場合は大学3年の後半から就職活動をはじめ、大学4年の前半ぐらいは就職活動が終わって、大学4年の後半は比較的余裕のある時間を持つのがとても良いと思います。中国の場合は大学卒業後から就職が始まるので、みんな余裕がない感じが強いです。							
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 希望会社のOB訪問に参加したり、会社の情報を収集して、最初は筆記試験に力を入れました。書類作成や面接の準備なども大学の進路支援課に協力してもらいました。その結果、2社から内定をもらうことができ、自分の希望する会社の内定も得られました。							


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1. アルファベット氏名	ZHANG TIANCHENG			非公開			
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	M1				
4. 学校名	静岡理工科大学	5. 学種	大学院				
6. 所属研究科・学部等名	理工学研究科						
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年 10月	～ 終了年月		2018年 3月		
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)							
①ビジネス日本語	<input type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input type="checkbox"/>	④その他	<input type="checkbox"/>
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 私が参加したプログラムは(静岡)日時:11月30日(木)14:30～15:30 静岡大学静岡留学生就職促進プログラム説明会と(浜松)日時:12月27日(水)10:00～17:10 集中講義二つがあります。静岡大学で行ったキャリア・日本語教員による就職支援、就職活動時に企業へのアピール、履歴書の書き方、面接問題の対策及びグループディスカッションなどの就職指導を通して、自分自身の交流能力を鍛えられました。就職についての知識と基本的な礼儀を学びました。プログラムを参加しながら、たくさん友人を作りました。グループディスカッションの中に、チームワークの重要性が分かりました。平成29年度に参加したプログラムは自分の就職の準備に対して、すごく役に立ちます。							
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 日本の就職活動と自分の国の就職の違いについて感じたことが二つを見つけました。まず、就職による流れの違い。日本には、説明会、ウェブテスト選考(SPI、適性試験、性格試験)、部門面接(3-4回)。厳しい基準に基づいて、人材を選考します。中国には、日本の就職に比べて、その流れはちょっと少ないと感じます。次、日本の就職時間と中国の就職時間全然違います。日本には、卒業前一年間で早めに就職します。中国には、一般的に卒業した後、就職が始まります。							
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 私は、最近、NSKワーカー、オーエスジーと三明電子産業でインターンシップに参加し、日本の企業文化への認識も深まった。目標設定、目標達成するための自身の努力、そして、チーム力の重要性について理解できました。これから就職をする場合は、できるだけもっと多くの説明会を参加したり、SPIによる試験を真面目に準備します。日本語の発表とか、日本語能力とか、その能力をもっと高めたいです。一生懸命頑張ります。							

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1. アルファベット氏名	YANG SHURAN							
2. 出身国又は地域	中国	3. 学年	3					
4. 学校名	関西大学	5. 学種	大学学部					
6. 所属研究科・学部等名	国語国文学専修							
7. 学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月		2018年	3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等 (1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	○	②キャリア教育		③インターンシップ			④その他	
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。 <p>一般的に、会社ではビジネス日本語を用いられる。今まで学んだ日本語との使い分けや違うところがある。ビジネス日本語に関する科目を履修した後、ビジネス日本語のことが少しずつわかるようになった。BJTセミナーに参加し、BJTを受験するメリットがたくさんあることを知った。他の留学生と差別化ができ、N1しか持たないのが物足りないことである。電話の対応から、上司への報告、取引先とのやりとりなど職場で使わなければならないビジネス日本語の用法・注意事項などについて学ぶことができた。また、日本語だけではなく、日本の地域ごとの特色・代表的な物事に関するのも身につけるほうが職場では有利である。そのほか、会議や日常会話では、カタカナビジネス英語が用いられ、それに関連する言葉も身につけるほうがいいと感じる。</p>								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。 <p>日本と中国において就職活動については、全体的にかなり違うと感じた。開始時期に関して、日本では卒業一年半前で、中国では卒業半年前から卒業後という時間帯である。また、日本の就活期間は半年から1年という長い期間と比べ、中国は2ヶ月程度なものである。会社から希望される勤続年数に対しても、両国はかなり異なっている。日本は、数十年を始め長期雇用するのが望みだが、中国では3～5年でキャリアアップということがある。昇進制度において、日本の会社では年功序列が比較的多いことに対して、中国の会社は個人の実力を重視する。採用方法も違い、日本はポテンシャル採用で、中国は卒業生の成績・スキル・資格によりポイントを加減することがある。ほかには、採用時に重宝される学位の順番が違っている。</p>								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。 <p>これから就職活動をするには、まず自己分析をするのが必要と感じる。他人の評価と自分のを合わせて分析するつもりである。そして、自分が関心を持つ業界のことを調べ、筆記試験の対策を練ることや、ビジネス日本語の検定試験に参加し評価をもらおうという考えがある。キャリアセンターを利用し、エントリーシートや面接対策についてアドバイスをいただくつもりである。そのほか、よりよく日本企業についてのことを知るため、インターンシップに参加する。合同企業説明会・個別セミナーに参加する前、企業のことをあらかじめ調べておく。各会社の会社文化・背景や好ましい人の素質・性格などについて調べた上、会社ごとにエントリーシートを提出し、面接対策を練るつもりである。また、TOEICの高い点数を取るために、英語を勉強する計画がある。</p>								

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者活動報告書
(留学生就職促進プログラム枠採用者)

1.アルファベット氏名	CHU SEOYEON							
2.出身国又は地域	韓国		3.学年	3年				
4.学校名	関西大学		5.学種	大学学部				
6.所属研究科・学部等名	文学部							
7.学習奨励費受給期間	開始年月	2017年	10月	～	終了年月	2018年		3月
8. 留学生就職促進プログラムへの参加状況等								
(1) 留学生就職促進プログラムとして実施されたプログラムのうち、平成29年度にあなたが参加したものに○を付けてください。(複数選択可)								
①ビジネス日本語	<input checked="" type="radio"/>	②キャリア教育	<input type="radio"/>	③インターンシップ	<input checked="" type="radio"/>	④その他	<input type="radio"/>	
(2) 参加した(1)のプログラムの内容と、プログラムで学んだことを具体的に書いてください。								
<p>留学生就職促進プログラムの中から、BJTセミナーやインターンシップに参加しました。BJTセミナーでは就職後に使えるビジネス日本語を勉強しました。また、パーソルプロセス&テクノロジーというIT企業のインターンシップに参加して、コンサルティングやマーケティングについて学ぶことができました。</p>								
(3) 日本の就職活動と自分の国の就職活動の違いについて感じたことを書いてください。								
<p>韓国では大学生の就職時期が特に決まっていないので、人によって就職活動を行う時期は異なります。しかし日本では3年生のときからインターンシップや自己分析、業界分析をして、4年生の3月になると就職活動が解禁になります。また、韓国ではTOEICやパソコンに関する資格をとるために、ほとんどの学生が休学をしますが、日本では資格証よりもエントリーシートやウェブテストを中心に評価されると思いました。</p>								
(4) 日本で就職活動を行った場合は、どのような活動を行ったかと、その結果(希望の会社の内定が得られたか)を書いてください。これから就職活動をする場合は、就職活動にどのように取り組みたいかを書いてください。								
<p>これから就職活動を始めたいと思います。2月からアクセンチュアの女性Miniインターンシップや大学内の業界研究セミナー、マイナビEXPOなどに参加する予定です。また、SPIの勉強やエントリーシートを書きながら、就職活動の準備をしていきたいと思っています。</p>								